VRモード・CPRM対応

7インチ液晶搭載ポータブルDVDプレーヤー＋ワンセグTV

製品型番：DS-PT761BK

取扱説明書

各種操作にあたり、特にご注意頂きたい項目を以下にまとめます。

電源を入れる前に… ▶P11	**ピックアップ保護カバーを取り外します。** ディスクトレイを開いた中央部にピックアップ保護用カバーが取り付けてあります。取り付けたままで電源を入れると機器の破損につながります。記載のページをご覧頂き電源を入れる前に必ず取り外してください。 **電源起動に関する注意** 主電源スイッチが本体側面に設けられています。こちらが OFF になっていると全ての操作はうけつけません。
バッテリーを使う前に… ▶P14	**ご使用前に充電が必要です。充電時はACアダプタを使用してください。** お買い上げ頂いた時点でバッテリーの電池残量は充分ではありません。ご使用前に充電する必要があります。また、使用によりバッテリー残量が著しく少なくなっている時は電源アダプタをつないでも途中で画面が暗くなることがあります。この場合は一旦使用を中断し、充電を完了させてからご使用ください。 バッテリーは用法を誤ると危険です。本書の内容を充分ご理解頂いた上でご使用ください。
テレビを見る前に… ▶P18	**テレビの視聴前にオートサーチが必要です。** 「オートサーチ」はお使いの地域で受信可能な放送局を読み込み、登録する作業です。この操作を行なわないとテレビ放送を受信することはできません。 **チャンネル切り替えに関する注意** チャンネルの切り替えはチャンネルボタンで行ないます。
各種メディアを再生する前に… ▶P23	**市販のディスク以外の、レコーダーやPCで作成したデータの再生について** ご自身で作成されたメディアやファイルについては作成環境も多岐に渡るため本書に記載された対応可能形式であっても再生できない場合もあります。デジタル放送を録画した VR モード・CPRM ディスクは読み込みに時間がかかったり、認識できない場合もあります。
AV出力機能	**ワンセグ放送は外部に出力できません** 本機には複数の機能モードがあり（DVD／ TV／ AV 入力）、用途に合わせて機能切替を行ないます。このうち、外部出力が可能なのは DVD 機能モードで再生させているものに限定されます。
停止操作	プレーヤー本体に停止ボタンはありません。停止操作はリモコンで行なってください。

目次

はじめに ―― P02

1. 各部名称 ―― P10
本体ボタン機能や端子の名前

2. 接続 ―― P14
電源アダプタやアンテナとの接続

3. テレビを観る ―― P18
オートサーチ、テレビ視聴時の各種操作

4.AV モード、外部機器接続時の操作 ―― P22

5.DVD・CD 及び各種メディアの再生 ―― P23

6. セットアップ画面の各種設定 ―― P30
セットアップ画面内での主な操作

7. 故障かな？ と思ったら ―― P36
不具合時の対処法と補足

製品仕様 ―― P44

お問い合わせ ―― P44

はじめに

この度は本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用にあたり取扱説明書と保証書をよくお読み頂き、正しくお使いください。また、必要なときにお読みいただけるよう大切に保管してください。

セット内容

パッケージの中に以下のものが入っているかをよく確認してください。不足品がありましたら、弊社までお問い合わせください。また、改良のため予告無くパッケージ内容が変更されることもあります。予めご了承ください。

- DVD プレーヤー本体
- AC アダプタ
- 車載用 DC アダプタ（12V 車専用）
- リモコン
- AV ケーブル
- 専用アンテナ
- アンテナ変換ケーブル
- イヤホン
- 取扱説明書
- クイックガイド
- 保証書

ご使用上の注意

- 本製品の AC アダプタの電圧がコンセントの電圧と合っているかを確認してください（AC100-240V）。
- クリーニングする場合、シンナー、ベンジン、アルコール等は使用しないでください。
- 長時間使用しない場合はコンセントを抜いて保管してください。
- 夏の暑い車中や直射日光のあたる場所、火気の近く等、極端に温度の高い場所での使用や放置はおやめください。変形や故障の原因となります。静電気の多い場所やほこりの多い場所、風呂場等の水のかかる場所や湿度の高い場所での使用はおやめください。また、濡れた手で操作をしないでください。ショートによる故障や感電の原因となります。
- 分解や改造は行わないでください。火災、感電、故障の原因となります。ご自身による分解や改造が原因で故障した場合、修理をお断りいたします。
- 落としたり、踏んだり、加重や衝撃を与えたりしないでください。
- 本製品から異臭がしたり、煙が出たり、異常な音がしましたら、電源アダプタをコンセントから抜いて、速やかに弊社サポートセンターまでご連絡ください。
  ※お問い合わせ先は本書巻末、及び保証書に記載してあります。
- USB 端子を搭載しておりますが、ストレージ以外の製品（通信用装置など）を接続して使用することはできません。ま

たストレージであっても、USB からの電力で駆動する機器は、消費電力が大きすぎるため、使用できない場合があります。
- 液晶パネルは高度な技術で製造されていますが、稀に常時点灯もしくは消灯するドットが存在します。これは故障ではありませんので、予めご了承ください。
- 小さなお子様が電気製品を使用する場合には本製品の取扱を理解した大人の監視、指導のもとで行うようにしてください。
- コネクタに付属の専用ケーブル以外の異物を挿入しないでください。ショート、感電、発火の恐れがあります。
- この製品は、クラス 1 レーザー製品です。レーザーデバイスを装備しているため用法を誤ると人を傷つけたり、機器を損傷したりします。決してレーザー光をのぞいたり、レーザー光に触れたりしないでください。
- 本書の説明と明らかに異なる操作や目的で使用した場合、故障や損傷または身体に及ぶ障害の原因となります。絶対におやめください。この場合、弊社は一切の責任を負えません。

電源供給に関する注意

- 付属の電源アダプタ以外は使用しないでください。また、電圧が使用する電源の電圧と合っているかを確認してください。AC100V、車載用アダプタは DC12V 専用です。**24V 車**（例、輸入車や大型車等）**では使用できません。**
- 電源アダプタは十分注意し、適切に配線してください。特に電源ケーブルを束ねて使用すると、アダプタや本体に負荷がかかり故障の原因となります。配線が切れかかったケーブルは使用しないでください。また、電源プラグはコンセントにしっかりと差し込んでください。ショートによる火災の原因になります。

内蔵バッテリーについて

- お買い上げ頂いた時点でバッテリーの電池残量は充分ではありません。ご使用前に充電する必要があります。また、使用によりバッテリー残量が著しく低下している時は画面が暗くなることがあります。この場合は一旦使用を中断し、充電を完了させてからご使用ください。
- バッテリーの充電は、電池残量がなくなった後に行ってください。
- 充電もしくは使用中にプレーヤー本体や電源アダプタ、バッテリーが異常に熱を持ったり、異臭や発煙、膨張した場合は直ちに使用を中断し、弊社までご連絡ください。尚、上記のような症状が見られた場合は、絶対に使用しないでください。
- 電源コンセントに差したままの状態にする等の過充電を行うと、故障や事故を引き起こす恐れがあります。また、バッテリーの消耗を早める場合がありますのでご注意ください。バッテリーは消耗品です。使用を重ねることで再生可能な時間は徐々に短くなる傾向にあります。

・自動車のシガーソケットからの充電はしないでください。自動車電源は電圧供給が不安定なため、つないだまま長時間使用するとバッテリーに負担をかけます。バッテリーの電池残量が多い時や充電完了の合図の後はシガーソケットから外してお使いください。
・保管場所にご注意ください。直射日光の当たる場所や炎天下の車内、火のそば、ストーブの前面などの高温になる場所や、湿度の高い場所での使用・放置をしないでください。保管に際してはプレーヤーから電源アダプタを取り外し、常温で湿気の少ない場所に置いてください。
・バッテリーを含む本製品の廃棄は、お住まいの自治体で定められている方法で正しく行ってください。

移動中やお車でのご使用について

・移動・運転中の視聴および操作は大変危険ですのでおやめください。本体及びアンテナは運転に支障が出ない位置に設置してください。車種によっては取り付けができません。
・誤った電源を使用すると故障やショートの原因となります。車載用アダプタをご使用の際は本製品とお車との電圧・電力・極性が合っていることをご確認ください。付属の DC アダプタは 12V 車専用です。**24V 車**（例、輸入車や大型車等）**では使用できません。**
・自動車のエンジン始動時は、シガーソケットからの電源供給が不安定です。本製品を車載で使用する場合、DC アダプタを差し込んだままエンジンを始動すると、DVD プレーヤー本体に無理な負荷をかけ故障の原因となる場合があります。機器の接続は、エンジンがかかった状態で行ってください。また、電源分配機に接続していると電源供給が不安定なため正常に動作できない場合があります。
・自動車からの電源供給によるバッテリーの充電は、電圧が不安定なこともありバッテリーに著しく負担をかけます。自動車シガーソケットから電源供給を行う場合は、バッテリーが満タンになったらシガーソケットから外してお使いください。
・真夏・真冬の車内等、過酷な状況下での使用や置き去りは故障や事故の原因となり、非常に危険です。絶対におやめください。
・移動や引っ越し等により初期設定でオートサーチをした地域の外に出ると、それまでにご覧になっていたチャンネルを受信できなくなります。視聴地域が変わりましたら、もう一度オートサーチをやり直してください。
・大きな建物のそばや山の陰、トンネル内等では、電波の受信状況が悪くテレビが映らなくなることがあります。その場合は、電波の受信状況が良い場所に移動してください。

DVD や CD 及び
各種メディア再生について

- 光学ヘッド（ディスクを読み取るレンズ）には触れないでください。
- ディスクトレイには DVD、CD 以外の異物を挿入しないでください。また、USB スロットと SD カードスロットに異物を挿入しないでください。
- ディスクをセットする時は 1 枚だけを使用し、読み取り面を下にして中央のコネクタにカチッと音がするまで差し込んでください。
- CD-R/-RW、DVD-R/-RW 及び各種メディアを使用する場合は、ファイルの種類または作成されるレコーダーや PC 等の互換性やデータの保存方式によって再生できないものがあります。そのため全てのメディアの再生は保証できません。
- CD-R/-RW、DVD-R/-RW を本機で再生する前に、必ず作成したレコーダーでファイナライズ処理をしてください。
- 大きいサイズのデータや大容量メディアについては読み込みがもたついたり、認識できない場合があります。
- デジタル放送を録画した VR モード・CPRM のディスクは読み込みに時間がかかったり、記録状態によっては認識できない場合もあります。
- USB 端子に接続できるのは USB メモリストレージです。通信機器など PC で使用するデバイスには対応しておりません。

ディスクの取り扱いについて

- ディスクを持つ時は、記録部分に触れず、ディスクの端を挟んでお取り扱いください。指紋、ホコリ、傷等は、ディスクの読み飛ばしやゆがみの原因となります。
- ディスクのラベル面にボールペン等で書き込まないでください。
- ディスクを曲げたり落としたりしないでください。
- お手入れをする時は軽く水で湿らせた布を用い、内周から外周に向かって拭いてください。

リージョンコード

DVD ソフト及びプレーヤーには、市場シェアを守る目的からリージョンコードという規格が設定されています。DVD ソフトとプレーヤー両者のリージョンコードが一致しなければ、ソフトを再生することができません。

［注意］：本製品のリージョンコードは「2」です。それ以外の DVD ソフトは再生できません。

リージョン 1	アメリカ・カナダ
リージョン 2	日本・欧州・中東・南アフリカ・エジプト
リージョン 3	東アジア・東南アジア・香港
リージョン 4	オーストラリア・中米・カリブ諸国・南米
リージョン 5	ロシア・北朝鮮・モンゴル・南アジア・アフリカ諸国
リージョン 6	中国

テレビ使用時の注意

［オートサーチ（チャンネルの読み込み）について］
- ご購入後、はじめてテレビをお使いになる場合は「オートサーチ」をしてください。オートサーチは使用する地域で受信可能な放送局を読み込ませる操作で、テレビを視聴するために必ず行う設定です。
- オートサーチは初めて使用する時以外にも移動や引っ越し等で視聴地域が変更した場合や、ご使用の地域で新しい放送が開始された場合等にも再度設定する必要があります。

- 本製品のテレビ機能は日本国内の地上デジタル放送（ワンセグ）を受信するためのものです。海外ではご使用になれません。また、国内であっても地上デジタル放送を開始していない地域では番組を受信できません。
- 建物の陰や窓際から遠い室内や地下等では電波が届かないため放送を受信することができません。また、屋外でも電波が弱い場所では受信できない場合があります。

ワンセグ放送について

ワンセグとは日本国内で主に携帯電話等の移動体端末やその他機器を対象とする地上デジタル放送です。従来のアナログ放送と比較して移動中でも安定して受信できる工夫がなされています。

ワンセグは地上デジタル放送の 6 メガヘルツの帯域を 13 セグメントに分けて送信する日本独自の規格によって実現したサービスで、13 のセグメントの真ん中の 1 セグメントを使用して映像、音声データが得られます。

ワンセグの番組内容は基本的に従来のテレビ番組と同じ内容です（チャンネル番号はアナログ放送とは異なります）。その為、普段見慣れた番組を外出先で楽しむことが可能です。

本製品は、双方向データ通信には対応しておりません。

ワンセグ視聴中に起こる、以下のような症状は故障ではありません

■ワンセグ放送を含む地上デジタル放送は、実際の時刻とのタイムラグが発生します

正確な時刻どおりに番組が始まらない等は、放送特性上のものであり機器の故障ではありません（数秒の遅れが発生します）。

■移動中の視聴では、電波状況が刻々と変化しています

電波が弱い場所に入ると急に音声・映像の乱れ、画像の静止、黒い画面になることがあります。アナログ放送のように乱れた画像だがかろうじて視聴できる、というような状態にはなりません。アンテナ角度の調整や電波状態の良い場所に戻ることで改善されます。

■移動中の視聴では、放送エリアが変わります

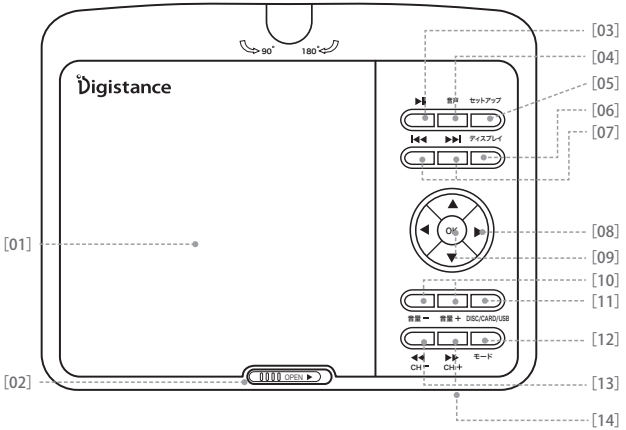
地上デジタル放送の電波は、地域によってチャンネル割り当てが異なります。その為、放送エリアが変わると急に視聴ができなくなることがあります。放送エリアが変わった場合は、再度「オートサーチ」を行ってください。

あらかじめご了承頂きたいこと

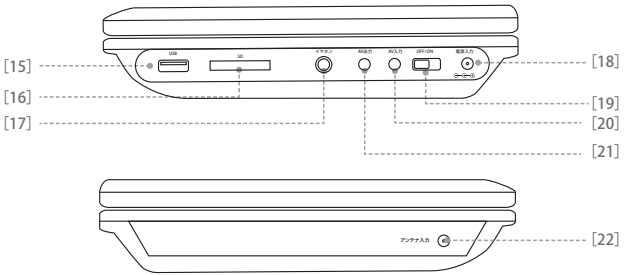
- 本書の内容、本製品の仕様・外観等は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容につきまして万全を期して作成いたしましたが、万一ご不明な点や誤り等、お気づきの点がございましたら弊社サポートセンターまでご連絡ください（お問い合わせ先は付属の保証書をご覧ください）。
- 本書の一部または全部を無断で複製することを禁止いたします。また、個人としてご利用になる他は著作権法上、当社に無断での使用はできません。
- 本製品の使用により生じた損害、取扱説明書記載以外の使用方法による故障・損害・逸失利益・第三者からのいかなる請求につきまして弊社では一切その責任を負えません。
- 接続機器との組み合わせによる誤作動から生じた故障や損傷に関しましては、弊社では一切の責任を負えません。
- 地震や雷の自然災害・火災・第三者からの行為・その他の事故・お客様の故意または過失、誤使用、その他明らかに異常な条件下での使用によって生じた故障や損傷等の損害に関しましては、弊社では一切の責任を負えません。
- 故障、修理、その他の理由に起因する損害および逸失利益につきまして弊社では一切の責任を負えません。
- 保証書への購入日・購入店の記載の無い物、保証書に記載された内容に相違のある場合等は、弊社では一切の責任を負えません。
- 本製品は一般家庭での使用を目的に製造されています。特に業務用（店舗展示用や長時間連続使用等）に使用された場合や、一般家庭内でも過度に長時間連続で使用された場合は保証期間内であっても弊社保証の対象外となります。
- 本製品は日本国内での使用を想定して製造されています。海外での使用はサポート及び保証の対象外とさせていただきます。

1. 各部名称

本体前面



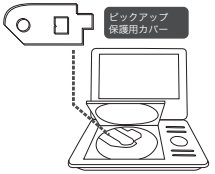
本体側面



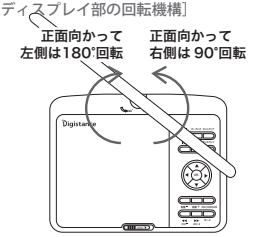
NO.	名称	機能
01	ディスクトレイ	ディスクを挿入します。お買い上げ頂いた時点では、蓋を開けた内側にピックアップ保護カバーが装着されていますので、取り外してからご使用ください。閉じる時は「CLOSE」と印字されている周辺を押さえて閉じてください。
02	OPEN スイッチ	ディスクトレイを開きます。
03	再生／一時停止	メディアを再生します。再生中にボタンを押すと一時停止し、もう一度押すと再開します。
04	音声	音声を切り替えます。ディスクによっては機能しない場合があります。
05	セットアップ	各種設定を行うセットアップ画面を開きます。
06	表示	ディスクの再生時間、残り時間を表示します。
07	頭出し	前／次のチャプターに戻り（進み）ます。
08	方向	設定画面等で項目の移動に使用します。
09	ENTER（決定）	設定画面等で選択した項目を確定する時に使用します。
10	音量＋・音量－	音量を大きくしたり大きくしたり小さくします。
11	DISC/CARD/USB	再生メディアの切り替えをします。
12	モード	ディスク再生・外部入力・ワンセグテレビモードの切り替えをします。
13	巻戻し／早送り	巻戻し、早送りを行います。ボタンを押す毎に再生速度が切り替わります。
13	CH ＋・CH －	ワンセグテレビモード時、チャンネルを切り替えます。
14	リモコン受光部	リモコン操作はこちらに向いて行います。充電中は赤ランプが、主電源入時は緑ランプが点灯します。
15	USB スロット	USBで接続するストレージ（USBメモリ等）を接続します
16	SD カードスロット	SD カードを接続します。
17	イヤホン出力	イヤホンを接続します。
18	電源入力	電源アダプタを接続します。
19	主電源スイッチ	主電源のオン／オフを切り替えます。ここがオフになっているとリモコンを含む全ての操作は機能しません。
20	AV 入力	外部機器を接続して本体の画面に表示させます。
21	AV 出力	本体の画面を外部モニタに出力します。テレビの映像は出力されません。
22	アンテナ入力	アンテナを接続します。

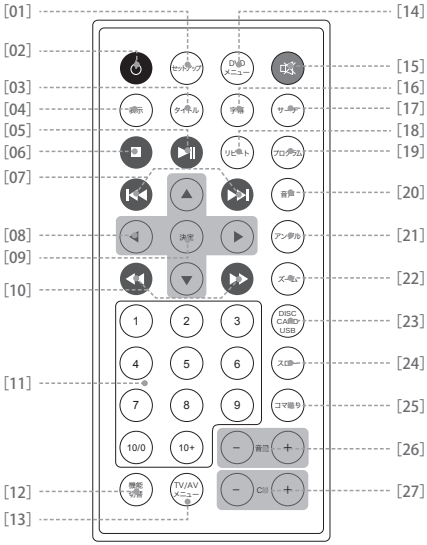
［ピックアップカバー］

ご購入いただいた時点では、ディスクトレイ内にピックアップ保護用のカバーが装着されています。電源を ON にする前に取り外してください。



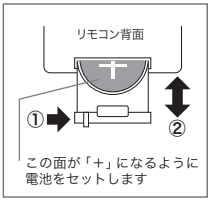
［ディスプレイ部の回転機構］





リモコン用電池の装着、交換

リモコンにセットされている電池は動作確認用であり、すぐに使用できなくなります。実際に使用する分は別途お買い求めください（ボタン型リチウム電池 CR2025）



①リモコンを裏面にし、リモコンの底部左側にある爪を右に押します。

②爪を押したまま、底部中央の切り込みをつまんで手前に引き出します。電池のトレイが引き出されます。

③電池を交換します。セットするボタン電池は「＋」と書かれている面が表です。裏表を間違えないようにしてください。電池のトレイをリモコンに差し込んで戻します。

NO.	名称	機能モード	機能
01	セットアップ	共通	各種設定を行うセットアップ画面を表示します。
02	電源	共通	電源のオン／オフを切り替えます。主電源スイッチが OFF になっていると機能しません。
03	タイトル	DVD	DVD のタイトルメニューを表示します。
04	表示	DVD	DVD の再生中に再生内容や時間経過などの情報を表示します。
05	再生／一時停止	DVD	再生を行います。再生中に押すと一時停止し、もう一度押すと一時停止を解除します。
06	停止	DVD	再生を停止します。1 度押した場合は再生位置を記憶して停止します。次回再生ボタンを押すと停止させた場面から再開します。2 度押すと再生位置の記憶は消去され、次回再生ボタンを押した場合は最初から読み込みます。
07	頭出し	DVD	DVD（CD）を再生中、前もしくは後のチャプター（トラック）を頭出しします。
08	方向	共通	各種設定画面内で、項目の選択を切り替えるときに使用します。
09	決定	共通	各種設定画面内で、選択項目の決定に使用します。
10	巻戻し／早送り	DVD	再生中に、巻戻しもしくは早送りを行います。ボタンを続けて押すと、巻戻し／早送りの速度が切り替わります。
11	数字	共通	•0 ～ 9：数字を使った選択項目の入力に使用します。通常再生中に数字入力すると、指定したチャプターにジャンプします。 • ＋ 10：10 以上の番号を入力するときに使用します。990 まで入力できます。例：31 と指定したい場合は、＋ 10 ボタンを 3 回押した後に 1 ボタンを押します。
12	機能切替	共通	ボタンを押す毎に［DVD/AVIN/1SEG］の機能モードが切り替わります。
13	TV/AV メニュー	TV	ワンセグ視聴用セットアップ画面を表示します。
14	DVD メニュー	DVD	ディスクメニューを表示します。
15	消音	共通	ボタンを一度押すと一時的に音声を消します。もう一度押すと消音状態は解除されます。
16	字幕	DVD/TV	字幕の種類を切り替えます。対応していない DVD ソフトや番組では無効です。
17	サーチ	共通	DVD 再生中に指定の［タイトル／チャプター／時間］にジャンプできます。 ワンセグ視聴モードではチャンネルのオートサーチ（チャンネル読み込み）を行います。
18	リピート	DVD	繰り返し再生を行います。チャプター／タイトル／全体の繰り返し再生を行います。
19	プログラム	DVD/TV	任意の再生順序を指定し、再生プログラムを作成します。 ワンセグ：番組表を表示します。
20	音声	共通	DVD 再生中及び TV の音声多重放送の視聴中に音声の種類を切り替えます。DVD ソフトや番組によっては、このボタンによる操作が無効になる場合があります。
21	アングル	DVD	複数のアングルが収録された DVD の再生中に、映像アングルを切り替えます。対応していない DVD では無効です。
22	ズーム	DVD	DVD 再生中、画面の一部分を拡大表示します。押す毎に倍率が切り替わります。
23	DISC/CARD/USB	DVD	DVD 再生モードの時に押すと、DISC/CARD/USB の読み込みモードを切り替えます。
24	スロー	DVD	DVD の再生速度を遅くします。ボタンを押す毎に再生速度が切り替わります。
25	コマ送り	DVD	コマ送り再生をします。一度ボタンを押すと、一時停止します。その状態から続けてボタンを押すと、コマ送りで再生されます。
26	音量	共通	音量を調節します。
27	チャンネル	TV	テレビ視聴中にチャンネルを切り替えます。

2. 接続

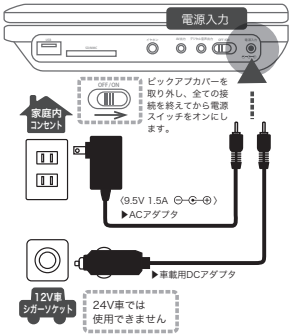
2-1. 電源の接続 ～ 電源アダプタからの電源供給

右図を参考に電源接続をしてください。

※ご使用にならない時は必ず電源の接続を外してください。

[車載ご使用時の注意]：電源仕様が 24V の車ではご使用になれません。また、エンジン始動時は電源供給が不安定です。接続時はエンジンのかかった状態で行ってください。

[電源が入らない？]：内蔵バッテリーの電池残量が低下していると電源アダプタを接続しても画面が暗くなることがあります。その場合は一旦使用を中断し、充電後にお使いください。



［内蔵バッテリーの充電］

充電時は側面の電源スイッチをオフにしてください。

本体側面の電源入力に付属の AC アダプタを接続し、壁のコンセントに差し込みます。本体正面の電源ランプが赤く点灯し、充電が開始されます。ランプが消灯すると充電完了です。充電完了後、テレビ本体から電源アダプタを取り外してください。

DC アダプタ及び自動車の電源を用いた充電はしないでください。

［補足］：充電・再生時間は使用状況によって上記時間とは差が出ます。記載の時間はあくまでも目安です。

充電完了後、コンセントにつないだままにしておくと過度な電源供給が行われ、大変危険です。充電ランプが消灯したら、速やかに電源アダプタの接続を解除してください。

［誤った使い方の事例］

用法を誤るとバッテリーの発熱・破裂等を生じ、故障や事故につながる可能性もあり大変危険です。こちらに示すような使い方は絶対にしないでください。

充電完了後、電源アダプタを差したまま使用すると過度な電源供給が行なわれ、大変危険です。

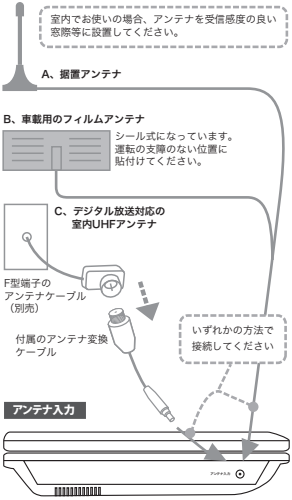
バッテリーの過度な充電は危険です。充電完了後コンセントに差したままで外出したりしないでください。

バッテリーを含むプレーヤー本体を過酷な環境に置き去りにしないでください。

2-2. アンテナとの接続

［据置・車載用フィルムアンテナ］：アンテナを本体のアンテナ入力に接続します。
［変換コネクタ］：デジタル放送に対応したUHF アンテナを接続する時は、付属の F 型アンテナ変換ケーブルを介して本体のアンテナ入力と接続します。

※付属アンテナは窓際等の受信感度の良い場所に設置してください。
※車載用アンテナは運転の妨げにならない場所に貼付けてください。フロントガラスの隅やリヤ・サイドウィンドウの熱線を避けた場所に取り付けてください。
※室内 UHF アンテナと接続する F 型アンテナケーブルは別売りです。

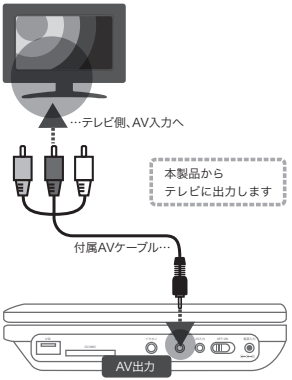


2-3. 外部機器との接続

出力する

本製品を、その他機器と接続してお使いになる場合の接続です。本製品を単体でお使いになる場合は、ここで紹介する接続の必要はありません。

本製品で再生している映像を外部機器に出力する場合の接続です。大画面で DVD を観賞したいとき等に便利な機能です。
付属の AV ケーブルを使って、本製品側面の「AV 出力」とテレビ側の対応する入力端子を接続します。



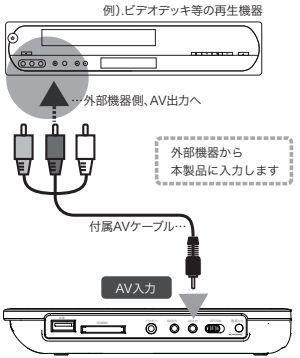
本製品で再生している映像を外部機器に出力する場合の接続です。大画面で DVD を観賞したいとき等に便利な機能です。
付属の AV ケーブルを使って、本製品側面の「AV 出力」とテレビ側の対応する入力端子を接続します。

※接続したテレビ側で外部入力モード（ビデオ 1 等）に切り替える必要があります。
※ DVD 機能モードで再生しているものに限り外部への出力が可能です。本製品で受信したワンセグテレビの映像は外部に出力することはできません。
※プレーヤー本体と外部出力時の音量は連動します。

入力する

ビデオデッキ等を接続し、接続機器側で再生している映像を本製品搭載の液晶モニタに映し出す場合の接続です。
付属の AV ケーブルを使って、本製品側面の「AV 入力」と接続機器の対応する出力端子を接続します。

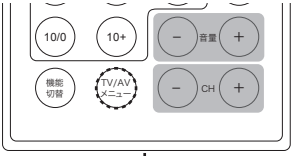
※外部機器の映像を入力する場合は、本製品の機能モードを「AV モード」に切り替える必要があります。
詳細は P22 をご覧ください。



3. テレビを観る

3-1. 電源を入れる

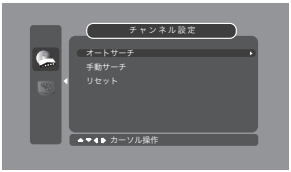
前章でご紹介したアンテナと電源の接続が完了後に本体背面の電源スイッチをオンにすると液晶画面が立ち上がります。



〈図 1. リモコン〉

3-2.1SEG モードに切り替える

本体、またはリモコンの「機能切替ボタン」を押して機能モードを「1SEG」に切り替えてください。



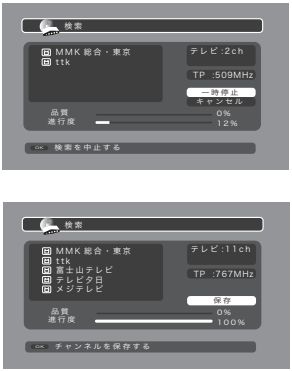
3-3. オートサーチ

リモコンの「TV/AV メニューボタン」を押します（図 1）。画面にチャンネル設定と表示され、オートサーチを選択しリモコンの▶ボタンを押すとチャンネルスキャンが実行されます。終了までしばらくお待ちください。

終了後にリモコンの決定ボタンを押すとオートサーチの結果が保存されます。TV メニューボタンでウィンドウが閉じられます。

オートサーチ後、チャンネルを切り替えて受信内容を確認してください。

チャンネルは受信した順番に表示され、オートサーチ完了後に数字の小さい順に自動的に並び変わります。

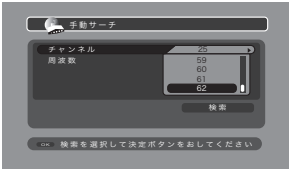


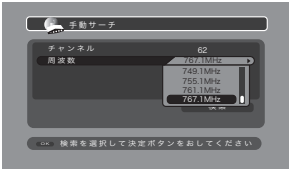
〈図 2. オートサーチ実行画面〉

［補足］
視聴可能なチャンネルは、オートサーチや手動リサーチで登録されたチャンネルに限られます。希望のチャンネルが登録できない場合は、視聴地域での受信放送局を確認後、アンテナ設置場所や向きを調整して再度オートサーチをしてください。

3-4. 手動サーチ

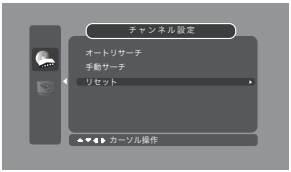
任意のチャンネル、周波数を手動で登録する時に使用します。チャンネル番号または周波数を選択して決定すると、放送が行われているかチェックします。ここでのチャンネル番号は物理チャンネルであり、リモコンでチャンネルを切り替えた時に表示されるものとは異なります。
TV/AV メニューボタンで前の画面に戻ります。





3-5. リセット

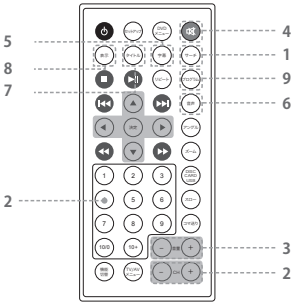
本体に登録したチャンネルを全て消去します。これを行うと、TV が視聴できなくなりますので、オートサーチを使って登録し直してください。キャンセルを選択し決定ボタンを押すと戻ります。



3-6. システム状態

本体のワンセグユニットのバージョンを表示します。TV/AV メニューボタンで戻ります。

3-7. テレビ視聴時の各種操作



1：サーチ

「TV/AV メニューボタン」を押さなくても、「サーチ」を押すことで受信放送局を読み込ませる作業が自動的に行われます。

誤って押してしまった場合、TV/AV メニューボタンを押すとキャンセルできます。

2：チャンネル切替

リモコンの「数字」ボタンや「チャンネル＋／－ボタン」を押すとチャンネルが切り替わります。
数字ボタンを押した後、決定ボタンを押してください。

3：音量調節

リモコンの「音量＋／－ボタン」を押すと音量の大小を調節することができます。

4：消音

「消音ボタン」を押す毎に消音／出音が切り替わります。

上記の消音状態の時や本体にイヤホンが接続されている時は、本体スピーカーから音声は出力されません。

5：字幕・切替

字幕放送に対応した番組を受信中にリモコンの「字幕ボタン」を押すと、字幕の有無及び種類が切り替わります。

字幕の切り替えは字幕放送に対応した番組を視聴中に限り操作が可能です。

6：音声の切替

音声多重放送に対応した番組を視聴中にリモコンの「音声ボタン」を押すと、音声の種類が切り替わります。

7：情報の表示 : タイトルボタン

画面上に現在表示させている放送局の番号や、字幕・音声の設定状態等の情報を表示させます。

8：チャンネルリスト：表示ボタン

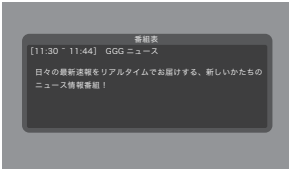
現在視聴可能なチャンネルの一覧を表示します。1 ページで表示しきれない場合には▲▼ボタンでページを切り替えます。
決定ボタンで選択されたチャンネルに切り替わります。

9：番組表：プログラムボタン

選局している放送局にて「プログラム」ボタンを押すことで、現在選局している番組表を見ることができます。

番組内容表示

「プログラム」ボタンで画面に出たチャンネルリストを▲▼ボタンで選択し「決定」ボタンを押すことで番組の詳しい情報が表示されます。



4.AV モード、外部機器接続時の操作

4-1. 電源を入れる

本体側面の「主電源スイッチ」を ON にすると液晶画面が立ち上がります。

主電源を ON にしても起動できない時は接続やバッテリー充電についてご確認ください。

4-2A. 本製品から出力する場合

テレビに接続し、本製品で再生している映像を外部出力する場合の操作です。「機能切替ボタン」を押して機能モードを「DVD」に切り替えて DVD を再生させると接続テレビに本機で再生している映像が外部に出力されます。

※接続したテレビ側で外部入力モード（ビデオ 1 等）に切り替える必要があります。
※ DVD 機能モード、及びメディア再生モードに限り外部機器への出力が可能です。
※プレーヤー本体音量が 0 のとき外部出力の音量は消えます。

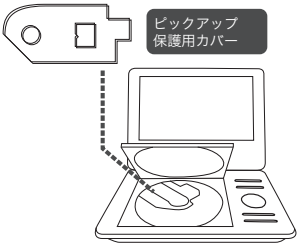
4-2B. 本製品に入力する場合

再生機器を接続して、外部で再生している映像を本製品の液晶モニターに映し出す場合の操作です。外部機器と接続されている状態で本体の「機能切替ボタン」を押して機能モードを「AVIN」に切り替えると、外部機器で再生している映像が本機のディスプレイに表示されます。

5.DVD・CD 及び各種メディアの再生

5-1. 電源を入れる

電源を ON にする前に必ずピックアップ保護カバーを取り外してください。
装着したまま電源を入れると内部機器が破損してしまいます。
本体側面の主電源スイッチを「ON」にすると液晶画面が起動します。



5-2. 機能モードを切り替える

機能切替ボタンを押す毎に〈DVD モード／ AVIN モード／ 1SEG モード〉が切り替わり、現在選択されている機能モードが画面右上に表示されます。
各種メディアの再生を行う場合は、ここで DVD モードを選択してください。

5-3.DVD を再生する

⚠ 再生ディスクに関する注意

※ディスクトレイ内部に CD や DVD 以外のものを入れないでください。

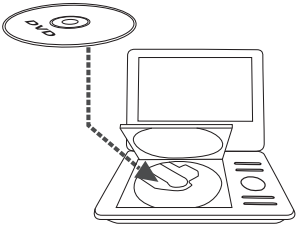
※本製品は「リージョン 2」に対応しています。
2 以外のディスクの再生はできません。

※ DVD-RAM は再生できません。DVD レコーダーやパソコンで作成したディスクはファイナライズを行っていないと再生できません。
また、作成ディスクについては全てのディスクの再生は保証できません。作成ディスクは再生中の一部操作が機能しない場合もあります。

※ VR モード・CPRM 規格等のデジタル放送を録画したディスクは読み込みに時間がかかったり、記録状態によっては認識できない場合もあります。

DVD をセットする

DVD を再生します。本体のディスクトレイオープンボタンをスライドし、ディスクトレイを開きます。ディスクを 1 枚レーベル面を上にしてセットしてください。
ディスクをセットし、ディスクトレイの蓋を閉じるとディスクの再生が始まります。



タイトルメニューの表示

複数のタイトルを収録した DVD では読み込むと、まず DVD タイトルメニューが表示されます。メニュー画面内では方向ボタンで項目を選択し、決定ボタンで確定すると再生が始まります。再生中にメニューまたはタイトルボタンを押すと、DVD タイトルメニューにジャンプします。

※ DVD によってはメニュー・タイトルボタンを押しても機能しない場合があります。

再生と一時停止

ディスクの再生中、再生ボタンを押すと一時的に再生を停止します。もう一度再生ボタンを押すと一時停止は解除され、続きから再生が始まります。

音量調節と消音

音量調節は音量＋／－ボタンで行います。リモコンの消音ボタンを押す毎に、消音／出音が切り替わります。

消音時とイヤホン挿入時は、本体のスピーカーから音声は出力されません。

停止

再生中に停止ボタンを一度押すと再生位置を記憶したまま停止します。この状態で再生ボタンを押すと、停止した場面から再開します。再生中に停止ボタンを 2 回押すと再生位置の記憶は消え、次回再生をした時はディスクの最初から読み込みます。

頭出し

再生中にスキップボタンを押すと、次もしくは前のチャプターを頭出しします。

スロー再生

遅い速度で再生します。スローボタンを押す毎に、再生速度が切り替わります。（1/2、1/4、1/8、1/16 逆方向へ 2/1、4/1、8/1、16/1）

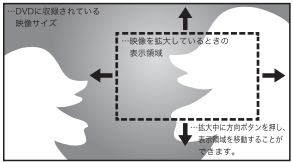
巻戻し／早送り

再生中に巻戻し／早送りボタンを押す毎に、再生速度が切り替わります。（×2、×4、×8、×16、×32）

スロー・巻戻し・早送り再生中は音声出力されません。

拡大と縮小

再生中の映像を拡大・縮小します。ズームボタンを押す毎に、映像の拡大・縮小倍率が切り替わります。また、映像拡大中に上下左右方向ボタンを押すと、拡大表示領域を移動することができます。（2×、3×、4×、1/2、1/3、1/4）



リピート

再生中のチャプターやタイトルを繰り返し再生します。リピートボタンを押す毎に、繰り返し方が次のように切り替わります。〈チャプターを繰り返し→タイトルを繰り返し→全てを繰り返し→繰り返し解除〉

リピートの仕様は再生するディスクの収録内容によって差があります。

指定場面の再生／サーチ

再生中のチャプターや時間にジャンプします。サーチボタンを押す毎にサーチ画面の表示と非表示が切り替わります。方向ボタンで指定したいチャプター／時間項目を選んだ後に数字ボタンを使って入力します。

プログラム再生

タイトル／チャプターを指定したプログラムを作成し、任意の順序で再生します。プログラムボタンを押す毎に、プログラム画面の表示／非表示が切り替わります。T列にタイトルを、C列にチャプターを数字ボタンを使って入力します。プログラムは20番目まで指定することができます。

プログラムを作成したら画面下段の「再生」を選択して決定ボタンを押すと、プログラム再生が開始されます。プログラムを削除するにはプログラム画面を表示させて「クリア」を選択し、決定ボタンを押します。

VR モード・CPRM ディスクでは操作できません。

アングルの切り替え

場面により複数のアングルが収録されている DVD では、画面にアングル切り替えが可能なことを示すマーク（設定項目「アングルマーク」で隠すことも可能）が表示されます。このとき、アングルボタンを押す毎に映像アングルを切り替えることができます。

複数のアングルが収録されていない DVD ではアングル切り替えはできません。

字幕言語の切り替え

字幕が収録されている DVD の再生中は字幕ボタンを押す毎に字幕の言語、及び表示の有無を切り替えることができます。

音声言語の切り替え

複数の音声が収録されている DVD の再生中は、音声ボタンを押す毎に音声言語を切り替えることができます。

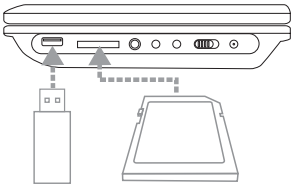
字幕・音声言語は次の方法で切り替えができます。
- 本機のリモコンの字幕、もしくは音声ボタンによる切り替え。
- 本機のセットアップボタンで表示される、設定画面内での切り替え。
- 再生中 DVD ソフトのタイトルメニュー画面内での切り替え。
  DVD によっては上記いずれかの方法が使用できない場合もあります。

5-4.CD を再生する

音楽 CD やデータ CD を再生します。本体のディスクトレイオープンボタンをスライドし、ディスクトレイを開きます。ディスクをセットし、ディスクトレイの蓋を閉じると再生が始まります。

5-5.USB 及び各種メディアの再生

プレーヤーに各種メディアを挿入すると自動的に読み込み始め、次頁図 A のメディア再生一覧画面が表示されます。自動的にメディア再生一覧画面が表示されない場合は、プレーヤー本体の DISC/CARD/USB ボタンを押すと、読み込みモードが順に切り替わりますので任意に切り替えてください（未認識メディアはスキップされます）。



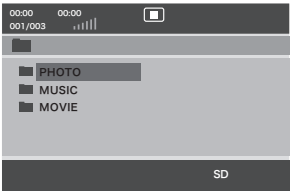
⚠ 各種メディア再生の注意

- PC やレコーダーを使い、ご自身で作成したメディアは、互換性により再生できないものもあります。画像、音声や映像ファイルは応用範囲も多岐に渡り、規格内容も複雑です。ファイル形式や圧縮コーデックのバージョンにより、正しく再生できない場合があります。再生前に録画機器でファイナライズ処理を行ってください。
- 半角英数字のファイル名のみに対応しています。日本語や長すぎるファイル名は文字化けします。
- 一部の音楽 CD に採用されている著作権保護を目的としたコピーコントロール CD は再生できない場合があります。
- メディアカードや USB ストレージの読み出しスピードが遅いため動画の再生がもたつく場合があります。
- 大きいサイズのデータや大容量メディアを再生させる時は読み込むまで時間がかかる、もしくは認識できない場合があります。
- ファイル名の先頭に「.」の付いた不可視ファイルが存在すると正常に読み込めません。PC で削除してから読み込ませてください。
- 複数メディアを同時に挿入すると誤動作を起こす場合があります。再生させるメディア以外は取り外してお使いください。

メディア再生一覧画面の操作

メディア再生一覧画面では、画面左側に読み込んだメディアの中身（フォルダやファイル）が一覧で表示されています。オレンジ色に反転している項目が選択中であることを表しています。

再生させたいフォルダやファイルを上下方向ボタンで一覧から選び、決定ボタンを押すことで再生、もしくは下の階層に進みます。また、上の階層に戻る時は左ボタンを押してください。

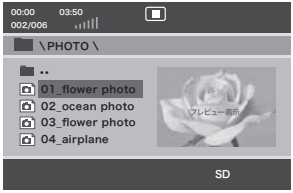


〈図 A. メディア再生一覧画面〉

図 A のように写真や音楽、映像等のファイル種毎にフォルダ分けをして管理することで操作性が高まります。次ページからの操作解説については上記のファイル種毎のフォルダ管理を前提に記載してあります。

写真ファイルの再生

メディア再生一覧画面（図 A）から写真ファイルのある階層まで進んでください（図 B）。ファイル名の先頭のアイコンはファイル種が写真であることを表します。画面右側には選択中の写真がプレビュー表示されます。一覧から再生させたい写真ファイルを上下方向ボタンで選び、決定ボタンを押すと写真のスライドショー再生が始まります（図 C）。



〈図 B. 写真ファイルの一覧画面〉

〈図 C. 写真スライドショー再生画面〉

スライドショー再生中の操作

スライドショー再生は認識した写真を一定間隔で切り替え、順に表示します。スライドショー再生中のリモコンでの操作は次の通りです。

▶一時停止

再生ボタンを押す毎にスライドショーの一時停止と再開が切り替わります。

▶前後ファイルの表示

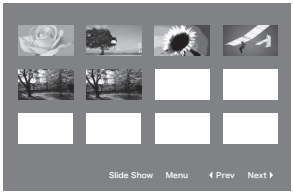
頭出しボタンを押すと前後ファイルが表示されます。

▶回転と反転

左右方向ボタンを押す毎に表示画面が 90° ずつ回転します。また、上下方向ボタンを押すと表示画像が水平もしくは垂直方向に反転します。

▶サムネイル表示

停止ボタンを押すと図 D の写真サムネイル画面が表示されます。サムネイル画面では視覚的なファイル選択が可能です。方向ボタンでファイル選択後に決定ボタンを押すとスライドショー再生に、メニューボタンを押すと一覧画面に戻ります。こちらは画面下部の操作部からも操作が可能で、Prev/Next は前後ページへの移動を表しています。



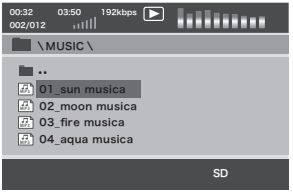
〈図 D. 写真のサムネイル表示〉

▶写真再生の終了

メニューボタンを押すと図 B の一覧画面に戻ります。

音楽ファイルの再生

メディア再生一覧画面（図 A）から音楽ファイルのあるフォルダ階層まで進んでください（図 E）。ファイル名先頭のアイコンはファイル種が音楽であることを表します。再生させたい音楽ファイルを上下方向ボタンで選び、決定ボタンを押すと音楽再生が始まります。



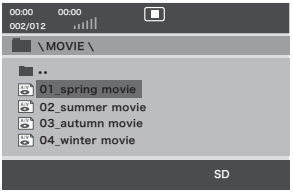
〈図 E. 音楽ファイルの一覧画面〉

音楽再生中の操作

▶一時停止：再生ボタンを押す毎に音楽再生の一時停止と再開が切り替わります。
▶停止：停止ボタンを押すと再生が止まります。
▶頭出しと巻戻し／早送り：頭出しボタンを押すと前後ファイルが頭出しされます。また、巻戻し／早送りボタンを押す毎に速度が段階的に変化します。巻戻しと早送り中は音声は出力されません。
▶音量：音量ボタンで音量の調節、消音ボタンで出音と消音を切り替えます。

映像ファイルの再生

メディア再生一覧画面（図 A）から映像ファイルのあるフォルダ階層まで進んでください（図 F）。ファイル名先頭のアイコンはファイル種が映像であることを表します。再生させたい映像ファイルを上下方向ボタンで選び、決定ボタンを押すと映像再生が始まります。



〈図 F. 映像ファイルの一覧画面〉

映像再生中の操作

▶一時停止：再生ボタンを押す毎に映像再生の一時停止と再開が切り替わります。
▶停止：停止ボタンを 2 回押す、もしくはメニューボタンを押すと映像ファイル一覧画面に戻ります。
▶頭出しと巻戻し／早送り：頭出しボタンを押すと前後ファイルが頭出しされます。また、巻戻し／早送りボタンを押す毎に速度が段階的に変化します。巻戻しと早送り中は音声は出力されません。
▶音量：音量ボタンで音量の調節、消音ボタンで出音と消音を切り替えます。

6. セットアップ画面の各種設定

設定画面内の操作

セットアップボタンを押す毎に各種設定を行うセットアップ画面（下図）の表示と非表示が切り替わります。

［設定画面内で主に使用するボタン］
方向ボタンを使って項目を選択し、決定ボタンで選択項目を確定します。

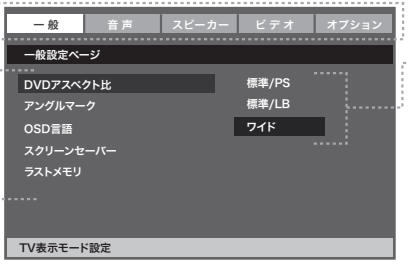
［操作手順］
1. 設定カテゴリーを選ぶ（下図 A）
2. 設定した項目を選ぶ（下図 B）
3. 設定を切り替える（下図 C）

［設定が可能なカテゴリ］

・一般設定　P31
・音声（オーディオ設定）　P32
・スピーカー　P33
・ビデオ設定　P33
・オプション（選択）　P34

A 設定カテゴリーを選ぶ

画面上部の黄色く反転しているものが現在選択中のカテゴリーです。
「方向ボタン」の左右で設定カテゴリーを選択後、「決定ボタン」で確定すると画面下段のリスト（B 部分）に緑色の選択枠が表示されます。



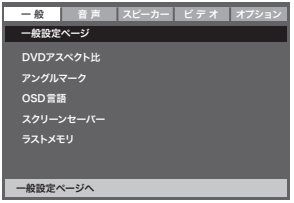
C 設定を切り替える

緑色の選択枠がリスト部（B）にある時に、画面右側 C 部で赤色に反転しているものが現在設定されている仕様です。
B 部分のリストから設定したい項目を選択後に「決定ボタン」を押すと、選択を示す緑色の反転が C 部分に移動します。
「方向ボタン」の上下で項目を選択後「決定ボタン」を押すと設定が切り替わります。

B リストから設定したい項目を選ぶ

画面左部のリスト内で緑色に反転しているものが現在選択中の項目です。
「方向ボタン」の上下でリストから設定したい項目を選択後、「決定ボタン」を押すと画面右側（C 部分）に緑色の選択枠が移動します。また、「左方向ボタン」を押すことで画面上部のカテゴリー選択に戻ります。

6-1. 一般設定



DVD アスペクト比

画面に出力するときの表示方法を切り替えます。

- 標準 /PS…16：9 の比率の映像の左右を隠し、拡大して表示させます。
- 標準 /LB…映像比率はそのままに全体を縮小後、上下の余白に黒帯を表示させます。
- ワイド…16：9 の映像を画面いっぱいに表示させます。

DVD ソフトによってはいずれかに対応しないことがあります。

アングルマーク

アングルマークの表示（オン）と非表示（オフ）を切り替えます。

OSD 言語

本セットアップで表示させる言語を日本語もしくは英語（English）から選択します。

本書は OSD 言語で「日本語」が選択されている状態を想定して作成されています。英語表示に対応した取扱説明書のご用意はありません。

スクリーンセーバー

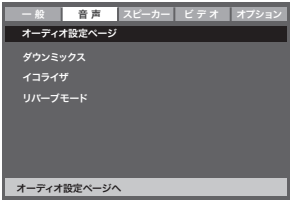
画面焼き付き防止の設定を行います。オンに設定すると停止状態で一定時間経過後にスクリーンセーバーが作動します。更に時間経過が進むと画面が消灯します。スクリーンセーバー状態からの復帰はリモコンのいずれかのボタンを押す、消灯状態からの復帰はリモコンの電源ボタンを押すことで元の画面が表示されます。

ラストメモリ

ラストメモリのオンとオフを切り替えます。オンを選択すると電源をオフにしたり、ディスクを出し入れした後にも続きから再生されます。

再生ディスクを取り替えると、ラストメモリはリセットされます。

6-2. 音声設定（オーディオ設定）



ダウンミックス

5.1 サラウンド音声のリア ch の出力方法を選択します。

・LT/RT…リア ch の音声が混合され、左右から出力されます。

・ステレオ…リア ch の左音声は左から、右音声は右から出力されます。

イコライザ

イコライザを選択後、決定ボタンを押すとイコライザ設定画面が表示されます。イコライザ設定画面では以下項目の設定が可能です。

サウンドモード

・無し　・ロック　・ポップ　・ライブ　・ダンス

・テクノ　・クラシック　・ソフト

バスブースト

・オン　・オフ

クリアブースト

・オン　・オフ

スーパーバス

・オン　・オフ

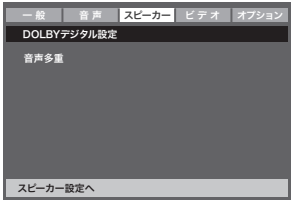
リバーブモード

設定された場所にいるような擬似的な音響効果が得られます。

・オフ　・コンサート　・リビングルーム　・ホール

・浴室　・地下　・アリーナ　・教会

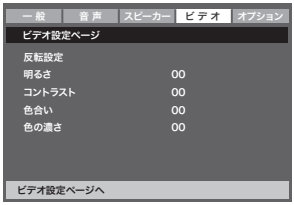
6-3. スピーカー



音声多重

音声多重放送を DVD にダビングした場合、ここで主音声・副音声を切り替えることができます。

6-4. ビデオ設定



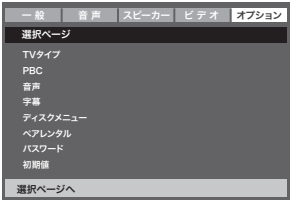
反転設定

反転を選ぶと画面表示が 180°回転されます。

明るさ～色の濃さ

各項目選択後に決定ボタンを押すと各々の調節画面が表示されます。左右方向ボタンで数値を調節後、決定ボタンを押すと調節画面が閉じられます。
外部出力された画面には無効です。

6-5. オプション



TV タイプ

国別で採用されているテレビシステムを選択します。

・PAL　・マルチ　・NTSC

接続する外部機器に合わせて設定します。日本国内で採用されているテレビシステムは NTSC です。通常は NTSC を選択してください。

PBC

ビデオ CD 再生時における PBC（プレイバックコントロール）機能のオンとオフを切り替えます。

音声

DVD 再生時の音声言語を選択します。

・英語　・フランス語　・スペイン語　・中国語　・日本語
・韓国語　・ロシア語　・タイ語　・その他

字幕

DVD 再生時の字幕言語を選択します。

・英語　・フランス語　・スペイン語　・中国語　・日本語
・韓国語　・ロシア語　・タイ語　・オフ　・その他

ディスクメニュー

DVD 再生時の画面使用言語を選択します。

・英語　・フランス語　・スペイン語　・中国語　・日本語
・韓国語　・ロシア語　・タイ語　・その他

音声・字幕言語については本製品のリモコンボタンでも切り替えが可能です。DVD ソフトによっては本製品での切り替えが無効になる場合があります。その場合は、DVD ソフトのメニュー画面から切り替えを行ってください。

ペアレンタル（ペアレンタルロック）

視聴年齢制限の設定を行います。数字が小さいほど年齢制限が厳しくなります。設定された年齢制限を超えた DVD は再生できません。また、ここで設定を切り替える時にはパスワードを入力するか、パスワードモードをオフにする必要があります（次項目の「パスワード」を参照）。

1：KID SAFE　…幼児がご覧になっても問題ありません。
2：G　…お子様がご覧になっても問題ありません。
3：PG　…お子様にとって不適切なシーンがあります。
4：PG13　…13 歳以下の方にとって不適切なシーンがあります。
5：PGR　…17 歳以下の方にとって不適切なシーンがあります。
6：R　…17 歳未満の方は保護者の同伴がないとご覧になれません。
7：NC17　…17 歳未満の方はご覧になれません。
8：アダルト　…18 歳以下の方はご覧になれません。

ここで年齢制限の設定を行っても、DVD ソフトの作成状態によって無効になる場合があります。

パスワード

パスワードを選択後、決定ボタンを押すとパスワード設定画面が表示されます。パスワード設定画面では以下の項目の設定が可能です。

パスワードモード

パスワードを打ち込んでパスワードモードのオン／オフを切り替えます。「ペアレンタル（視聴制限）」の設定を切り替える際、パスワードをその都度入力するか、事前にパスワードモードをオフにする必要があります。出荷時のパスワードは「136900」です。数字を打ち込んで決定ボタンを押す毎に、オンとオフが切り替わります。

パスワード

パスワードを変更します。項目「パスワード」を選択し、続いて「変更」が選ばれた状態で決定ボタンを押すとパスワード変更画面が表示されます。

パスワードを変更するには、旧パスワードと新パスワード、（新）パスワードの確認欄でそれぞれ 6 桁の数字を入力後、最下段の「OK」で決定ボタンを押してください（出荷時のパスワードは 136900 です）。

初期値

初期値→リセットを選択して決定ボタンを押すと各種設定が出荷時の状態に戻ります。

7. 故障かな？　と思ったら

正常に動作しない場合はこちらのトラブルシューティングをお読みください。不具合の原因とその解決方法を確認することができます。巻頭に記載の注意書き、及び本項をお読みになっても問題が解決されない場合は保証書の内容をご確認の上で、弊社までご連絡ください。

機能全般

本体が起動しない

- 本体側面の主電源スイッチが ON になっているかを確認してください。電源ランプが点灯していなければ配線を確認してください。
- バッテリー駆動の場合は電池残量が不足していることが考えられます。本書の充電に関するページをご確認ください。

バッテリーの駆動時間が短い

- ご購入後、はじめてご使用になる場合は充電をしてください。
- バッテリー駆動時間は、使用状況により差が出ます。必ずしも、本書に記載している通りの時間とは限りません。また、バッテリーは使用を重ねるごとに劣化し、使用可能な時間は徐々に短くなります。

音声や映像が途切れる

- バッテリー駆動時は電池残量が少なくなると音声や映像が適切に出力されない場合があります。電源アダプタを本体に接続し、正常に出力される場合は充電してください。

液晶に点が表示される

- ディスプレイは高度な技術で製造されていますが、常時点灯もしくは消灯するドットが存在することがあります。これらは故障ではありません。
- 液晶保護フィルムに文字が印刷されているので、はがしてお使いください。

画面が上下反転している

- 映像反転する機能が備わっています。セットアップ画面の「ビデオ」>「反転設定」から「正常」を選択してください。（33 頁参照）

映像は出るが音声が出ない

- イヤホンを接続していませんか？
- 音量が 0 になっているか、消音ボタンが押されていませんか？

表示が外国語になっている

- セットアップもしくはメニュー画面内の OSD LANGUAGE から表示言語の切り替えが可能です（31 頁参照）。

リモコンが効かない

- プレーヤー本体の電源スイッチはオンになっていますか？
- 電池が裏返しにセットされていませんか？
- ご購入頂いた時点では電池トレイの底面に透明の絶縁フィルムが挟み込まれています。挟まったままの場合は取り外してください。また、付属のリモコン用電池は動作確認用です。このためすぐにバッテリー切れになる場合がありますので、通常ご使用になる分は別途ご用意ください。使用する電池はボタン型リチウム電池（CR2025）です。
- リモコン操作は本体のリモコン受光部（正面中央下付近）に向けて行ってください。本体とリモコンの距離が離れている、もしくは間に障害物がある場合はリモコン操作が効きません。

再生機器等を接続し、本製品に入力をしている場合の不具合

- 外部機器の接続部は適切な出力端子に繋がれていますか？
- 本体の機能モードは AVIN モードになっていますか？　機能切替ボタンを押して AVIN モードになっているかを確認してください。
- 誤って AV 出力端子に接続していませんか？

テレビと接続し、本製品から出力をしている場合

- テレビ側の接続部は適切な入力端子に繋がれていますか？　また、テレビの入力切替は行われていますか？
  例：ビデオ 1・2、外部入力等。詳細は接続機器の取扱説明書をご覧ください。
- 本体の音量がゼロになっていると、接続機器から音声は出力されません。
- 異なるテレビシステムでは映像を正しく出力できません。テレビシステムは地域毎に異なり、日本では NTSC 方式を採用しています。通常は NTSC を選択してください。
- AV 出力が可能なのは DVD モードで再生中のものに限られます。

テレビ視聴時

音声や映像が途切れる

・周囲に建物がある等で電波受信状況が悪いと、このような状態になります。受信が不安定な場合は、受信しやすい場所に移動するかアンテナの位置や向きを調節してください。

音声も映像も出ない

・ 本体機能を 1SEG に切り替えて「オートサーチ」は行いましたか？
・受信中のチャンネルで放送が行われていることを確認してください。
・電波の受信状況が悪いことが考えられます。アンテナの窓際の受信しやすい場所に設置してください。付属アンテナは携帯性を重視した設計になっております。もしもご家庭内にデジタル放送に対応した UHF アンテナがある場合はそちらに接続してお試しください（先端が F 型端子のアンテナケーブルが別途必要です）。

ボタン操作が効かない

・電源をオンにした直後、機能モード切り替え後、チャンネルの切り替え直後、および電波状態の悪い場所での視聴中は本体で複雑な処理を行っているため、反応や動作に時間がかかることがあります。この状態で繰り返しボタンを操作すると後で全ての操作が反映されて思わぬ動作を起こすことがあります。全ての操作は反応を確認しながら行なってください。

番組を受信できない

・お住まいの地域でワンセグ放送が開始されているかをご確認ください。
・アンテナの位置が受信しやすい場所に設置されているかをご確認ください。
・オートサーチは完了しましたか？　また、オートサーチを行った地域から移動した場合、チャンネル編成が地域により異なるため、再度オートサーチが必要です。

チャンネルと番組が一致しない

・オートサーチを行った地域から移動していませんか？　チャンネル編成は地域ごとに異なるため、地域が変わったら再度オートサーチを行ってください。

希望のチャンネルに合わせられない

・「オートサーチ」の方法は正しいですか？
・受信状況が悪い場合は希望のチャンネルを受信できない場合があります。次ページの「ワンセグ放送の受信について」をご確認ください。

チャンネルの切り替えが遅い

・ワンセグを含むデジタル放送は受け取ったデジタル信号を音声や映像に展開するため、若干時間がかかります。
・受信状態が悪い場合は更に時間がかかります。室内であれば窓際等に本体もしくはアンテナを移動してください。

［ワンセグ放送の受信について］
現在、全国の主要な地域ではデジタル放送が開始されていますが、地域の状況により放送エリア内であっても受信できない場合があります。

・お使いの地域の周辺に高層ビルや山等があり、放送局からの電波を遮断している。
・住宅密集地域や集合住宅で電波状況が芳しくない。
・高圧送電線による電波障害の影響がでている。
・電波中継局の設置などのインフラ整備が整っていない。

また、各機器に搭載されているチューナーの受信能力には性能差があります。特に携帯電話は、屋外での不安定な電波状況での使用を前提としているため、チューナーにブースターを搭載するなど設計・受信方式が根本的に違います。携帯電話でワンセグ放送が受信できても、同じ状況下で他のワンセグ機器でも同様に受信できるとは限りません。

［ワンセグ放送エリアに関する、インターネット上の参考 URL］
・社団法人デジタル放送推進協会～放送エリアの目安
　http://vip.mapion.co.jp/custom/DPA_B/
・総務省　地上デジタル放送中継局ロードマップ
　http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/dtv/datashu/datashu_05.html

［アンテナ配線の見直し］
ご家庭にデジタル放送に対応した UHF アンテナがある場合には、付属のアンテナ変換アダプタを介してそちらに接続してください。

DVD、各種メディアの再生時

リモコンが効かない

・DVD の場面によってはボタン操作が制限されている場合があります。

リモコンの字幕・音声ボタンを押しても言語が変更できない

・DVD の仕様によってはディスクメニューでのみ切り替えが可能です。
・複数の音声や字幕を収録していない DVD は変更ができません。

音声が出ない

・巻戻し／早送り／スロー／一時停止／コマ送りの状態になっていませんか？
・消音ボタンが押されていませんか？

画面が勝手に暗くなる

・セットアップ画面内でスクリーンセーバーを「オン」にしている時はディスク停止状態で一定時間操作がないと、黒い背景のスクリーンセーバー画面が起動します。復帰させる時はリモコン、もしくは本体で操作をしてください。

再生できない

・ピックアップカバーは取り外しましたか？
・ディスクに汚れや破損はありませんか？
・光学ヘッド（ディスクを読み取るレンズ）が汚れていませんか？
・ディスクが裏面になっていませんか？レーベル面を上にして、ディスクをセットしてください。
・DVD レコーダーやパソコンで作成したディスクを使用する場合、互換性によって再生できるかを確認してください。また、ファイナライズを行っていないディスクは再生できません。
・DVD-RAM はサポートしておりません。
・温度差によって結露が生じている場合があります。数時間温度になじませてから再生を試みてください。
・再生可能な DVD のリージョンコードは 2 です。その他のリージョンコードを持つ DVD は再生できません。

デジタル放送を録画したディスクが再生できない

・デジタル放送を録画した VR モード・CPRM ディスクは読み込みに時間がかかったり、認識できない場合もあります。
・ハイビジョン画質で記録された DVD（AVCREC、HDRec）は再生できません。

コピーコントロール CD（CCCD）

・一部の音楽 CD で著作権保護のために用いられている CCCD は、正式な CD 規格に準拠していない特殊なディスクです。再生については読み込めない、または正常に再生されない場合があり、すべての CCCD の再生は保証できません。

USB デバイスが再生できない

・フォーマットが MS-DOS（FAT）形式に

対応しており、それ以外のフォーマットは読み込みできません。
- パスパワーで動作する USB 機器の場合、電力が足りずに動作できない場合があります。
- ドライバが必要な PC 用 USB デバイスは使用できません。
- USB ストレージ、またはメモリーカードの読み込み速度が遅いため、再生に追いついていないことが考えられます。また、大きいサイズのデータや大容量メディアを再生させる時は読み込むまでに時間がかかる、もしくは認識できない場合もあります。
- 複数のメディアを同時に挿入すると、誤動作を起こす場合があります。再生中のメディア以外は取り外してお使いください。

ファイル名に関する補足
- 半角英数字の表示に対応しています。日本語や特殊記号等のファイル名は文字化けや認識エラーも生じます。
- 挿入メディアに不可視ファイルが存在すると認識不具合が生じます。PC 上で削除してから本機に挿入してください（例：ファイル名の先頭に「.」のついたものや、薄いグレーで表示されるファイル）。

ファイルの診断
- 挿入メディアとその中身のファイルは PC にて定期的に診断やウィルスチェックを行ってください。破損したデータの入ったメディア及びウィルス感染したメディアは読み込めなくなるだけでなく、本機や接続 PC の不具合を招きますのでご注意ください。

補足

内蔵バッテリー
製品仕様として記載してあるバッテリー駆動時間は、あくまでも目安です。実際の使用状況（使用年数や操作頻度、周辺温度や環境等）によって駆動時間に差があります。未使用時は側面の電源スイッチをオフにしてください。充電後に電源スイッチをオンにしたままですとバッテリーの放電が早まります。また、バッテリーは消耗品です。使用を重ねる毎に劣化し、使用可能な時間は徐々に短くなります。

ワンセグ独自の放送内容
時間帯により、ワンセグ独自の放送が行われている場合があります。この時、地上デジタル放送用の番組はご覧になれません。

ボタン操作に関して
一部の操作は本体ボタンでも可能ですが、本機の全ての操作を行なうことはできません。通常はリモコンで操作をしてください。

製品仕様

製品名	7 インチ液晶ポータブル DVD プレーヤー + ワンセグテレビ
型番	DS-PT761BK
本体カラー	BK：ブラック
本体サイズ	205 × 160 × 38mm（横幅×奥行×厚さ）／約 890g
液晶パネル	サイズ：7 インチ、480 × 234pixel、表示色数 =1,677 万色、バックライト寿命 ≦ 10,000 時間、画面輝度 =350 cd/m^2、コントラスト比 =500：1、応答速度 =30ms、視野角 = 上下：45°／左右：65°
DVD プレーヤー	・周波数特性 ［CD］31.5Hz ～ 16kHz（± 3dB） ［DVD］48kHz：4Hz ～ 22kHz（± 1dB）／ 96kHz：4Hz ～ 44kHz（± 1dB） ・S ／ N 比≧ 85dB
再生メディア	DVD、DVD ± R/ ± RW、DVD-R DL、CD、VCD、CD-R/-RW、USB、SD/MMC
再生ファイル	［画像ファイル］：.jpg、［音声ファイル］：.mp3、［映像ファイル］：.avi/.mpg 映像コーデック：mpeg1 / mpeg2/XviD　　音声コーデック：mp2 / mp3
電源	AC100V - 240V　50 - 60Hz ／ 電源アダプタ：9.5V　1.5A
消費電力	5W ／待機時：0.3W
内蔵バッテリー	電圧：7.4V ／容量：1,300mAh 充電時間：約 120 分／連続使用時間：DVD 再生 120 分、TV 視聴時 130 分
チューナー	ISDB-T 1Segment ／ UHF13 ～ 62ch（アナログ放送の受信はできません）
スピーカー	最大出力：2W × 2
入出力端子	USB、SD、AV 入出力、テレビアンテナ、電源、イヤホン（3.5mm ミニプラグ）
動作環境	温度：-10 ～ 45℃
製造国	中国

製品の仕様は予告無く変更することがあります。また、上記仕様表記と併せて本書中に記載の注意や解説をお読み頂き、用法を守って正しくお使いください。

お問い合わせ

製造元：株式会社ゾックス
〒 231-0033　神奈川県横浜市中区長者町 3-8-13　TK 関内プラザ 304
電話：0120 - 602 - 302　　ホームページ：http://www.zox-net.com
お電話でのお問い合わせは：月～金曜日の 10 時～ 17 時
※土・日曜日、祝祭日はお休みを頂いております。